

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

抗がん剤誘発末梢神経障害に及ぼすレニン・アンジオテンシン系（RAS）阻害薬の影響

### 【研究目的】

抗がん剤により誘発される末梢神経障害に対して、有効な効果を示すお薬や予防・治療方法は、未だに確立されていません。愛媛大学病院において実施した後方視的カルテ調査において、オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対するレニン・アンジオテンシン系（RAS）阻害薬の予防効果について明らかにしました。さらに、徳島大学病院と共同実施したビッグデータ解析により、RAS 阻害薬はオキサリプラチン、パクリタキセルおよびビンクリスチン誘発末梢神経障害に対しても有効性を示すことも明らかにしてきました。そこで本研究では、愛媛、徳島および岡山大学病院の多施設における后方視的カルテ調査を実施（調査期間：2009年5月～2016年12月）し、新規かつ追加エビデンスの構築を主な目的としています。

### 【研究意義】

抗がん剤により誘発される末梢神経障害に対して、有効な効果を示すお薬や予防・治療方法について明らかにすることにより、安全かつ安心な抗がん剤治療の提供と患者さんの生活の質を高めることにも貢献できると考えています。

### 【調査対象となる患者さん】

#### ・選択基準

オキサリプラチン、パクリタキセルおよびビンクリスチンのいずれかの抗がん剤を使用したがん化学療法（レジメンを含む）を1コース以上実施した患者さん。

### 【研究方法】

調査対象となる患者さんのカルテから、以下の項目を抽出して調査します。  
年齢、性別、体格指数（BMI, body mass index）、体表面積、既往・現病歴、血圧、オキサリプラチン、パクリタキセルおよびビンクリスチン投与量、減量・休薬の有無、レジメンの種類、分子標的薬（ペバシズマブ、パニツムマブなど）の有無、投与クール数、

がん種、eGFR、ALT、AST、その他検査値、併用薬剤の有無・服用期間、末梢神経障害の発症状況など。

#### 【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる徳島大学病院および岡山大学病院の患者さんのデータは、愛媛大学附属病院薬剤部へパスワードを付加したファイルにて提供されます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

〈試料・情報の管理責任者〉 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

#### 【研究実施体制】

研究機関：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究代表者：松山大学薬学部 准教授 高取 真吾

研究責任者：助教 飛鷹 範明

研究分担者：

松山大学薬学部

教授 川崎 博己

教授 難波 弘行

准教授 高取 真吾

大学院生 内田 真美

愛媛大学病院薬剤部

薬剤部長 准教授 田中 亮裕

徳島大学病院 薬剤部

薬剤部長 教授 石澤 啓介

講師 座間味 義人

特任助教 武智 研志

岡山大学病院薬剤部

薬剤部長 教授 千堂 年昭

副薬剤部長 准教授 北村 佳久

薬剤師 牛尾 聡一郎

**【研究に関する問い合わせ先】**

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

研究責任者：飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5744

e-mail: noridah@m.ehime-u.ac.jp